

# 第8部

## 公的統計を通してセカイを見る！

### 1 日本の国土と気象

#### 日本の“へそ”はどこ

##### ◇ 日本の国土の重心は富山県沖



国土の重心の位置  
東経137度42分44秒  
北緯 37度30分52秒

##### ◇ 日本の人口の重心は東へ移動中（2010年10月1日現在で岐阜県関市）



人口の重心の位置  
東経137度01分45秒  
北緯 35度35分35秒

##### ◇ 人口分布の比重は東

(%、km)

年		1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010
人口割合	東北日本	53.39	53.90	54.22	54.80	55.22	55.41	55.56	55.79	55.81	56.03
	西南日本	46.61	46.10	45.78	45.20	44.78	44.59	44.44	44.21	44.19	43.97
人口の重心の移動距離			8.3	3.3	1.5	1.8	2.1	1.3	1.4	2.1	2.4

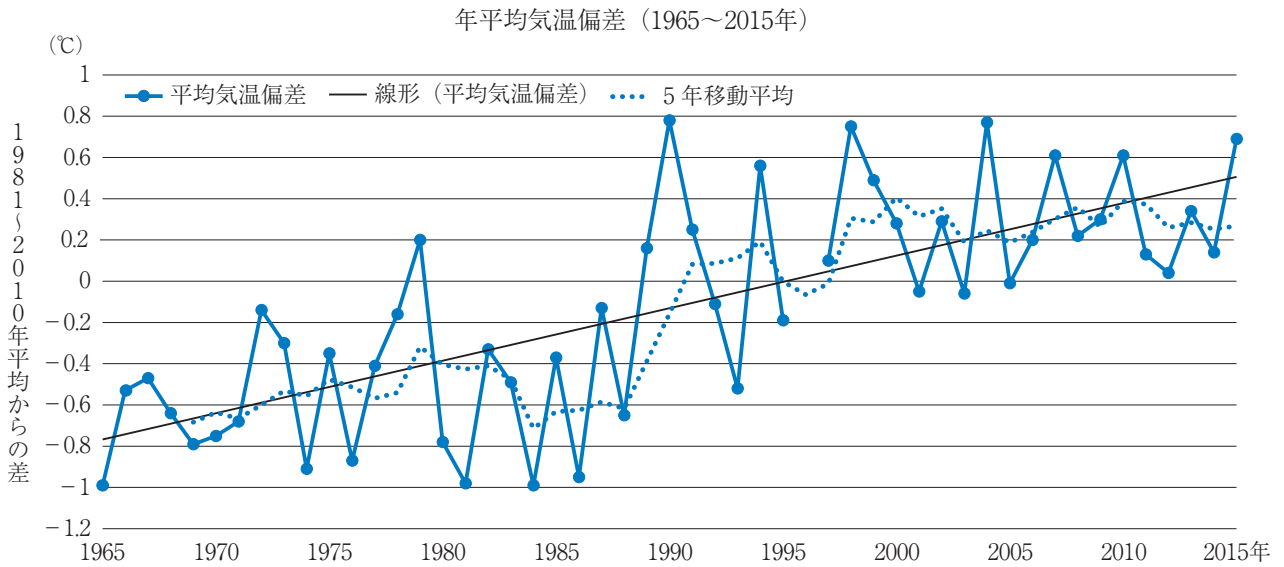
資料：国土地理院ホームページ、総務省ホームページ「国勢調査」

注：東北日本：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県

西南日本：愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

日本列島を取り巻く温暖化

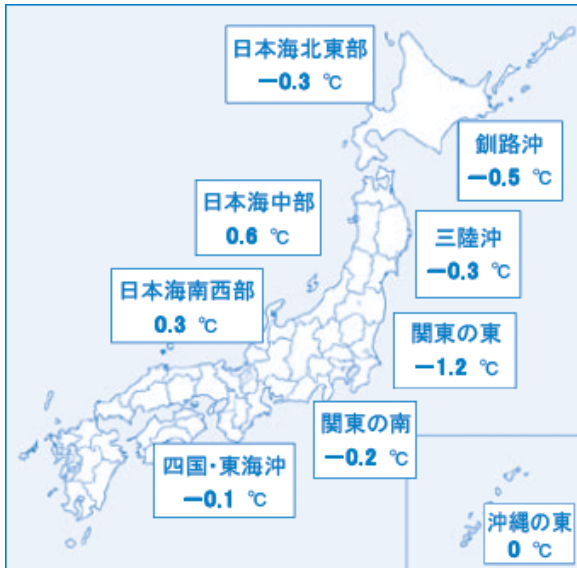
◇ 平均気温は長期的に上昇傾向、この50年の気温の上昇は1℃を超える



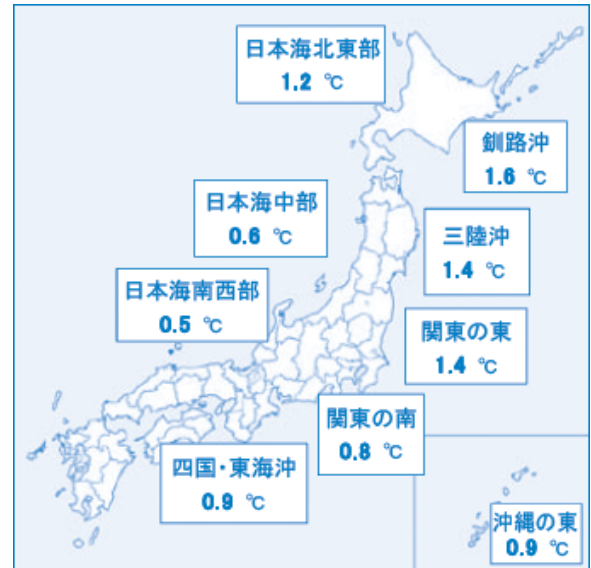
◇ 日本近海の海面の50年前の水温は、100年前に比べて日本海中部と南西部を除き、低くなっている

◇ 最近50年間は、いずれの海面でも水温が上昇している  
特に太平洋側の上昇が著しい

1915～1965年の50年間の海面水温変化



1965～2015年の50年間の海面水温変化



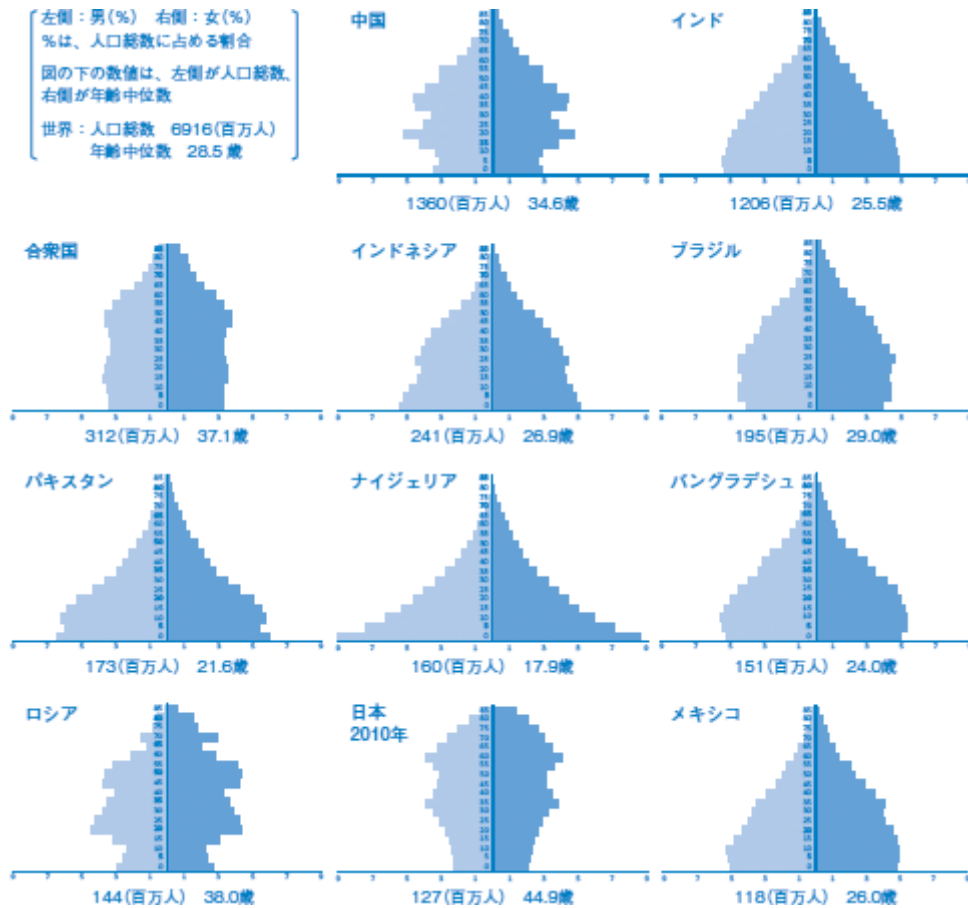
資料：気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html>

注：平均気温偏差は、各年の平均気温と1981～2010年の30年間の平均気温の差

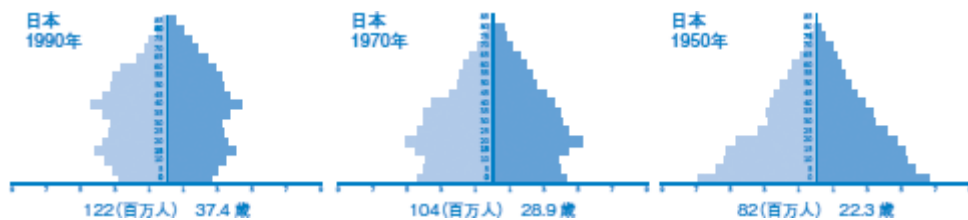
## 2 世界の人口とこれから

### 人口1億人以上の国の人口ピラミッド：2010年

◇ 国により著しく異なる男女年齢・構成比



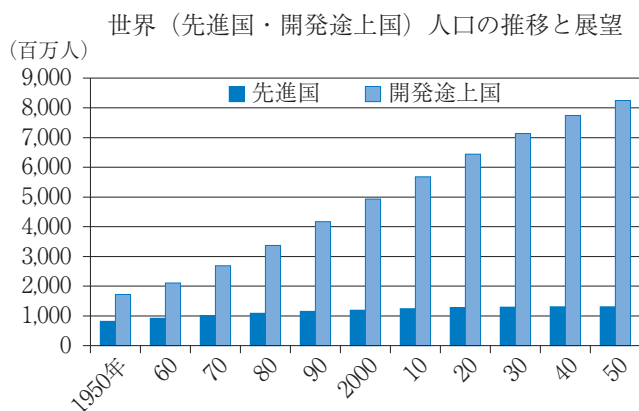
◇ どの国の人口ピラミッドが日本のどの年の人口ピラミッドに似ているか？



資料：United Nations, World Population Prospects, The 2012 Revision、総務省「国勢調査」

これからの世界人口

◇ ほぼ横ばいの先進国に対して開発途上国は急増

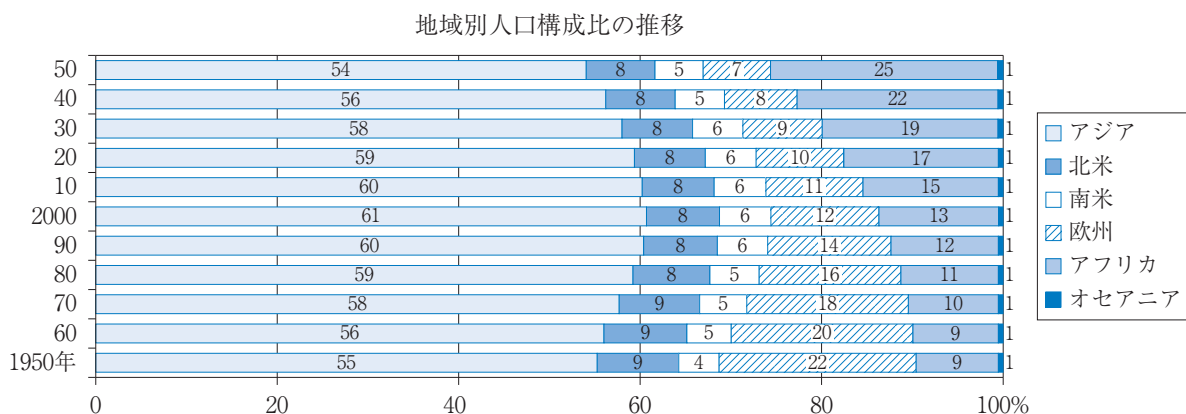


(参考) 日本の人口の推移

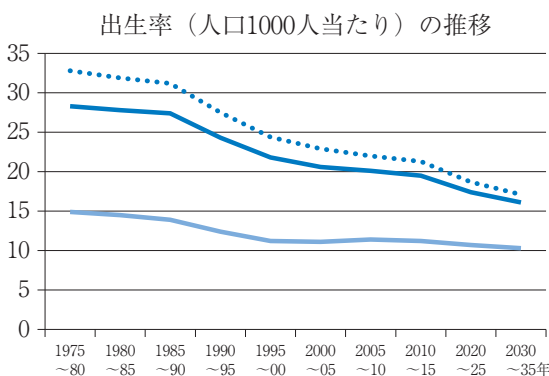
年	人口 (万人)	構成比 (対世界%)	出生率 (対人口千人当たり)	死亡率 (対人口千人当たり)
50	9708	1.0		
40	10728	1.2		
30	11662	1.4		
20	12410	1.6		
10	12806	1.9	8.5	9.5
2000	12693	2.1	9.5	7.7
90	12361	2.3	10	6.7
80	11706	2.6	13.6	6.2
70	10467	2.8	18.8	6.9
60	9430	3.1	17.2	7.6
1950年	8412	3.3	28.1	10.9

資料：UN, World Population Prospects : The 2012 Revision  
 注：先進国（日本、米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、欧州）、開発途上国（先進国を除く全ての国・地域）以下の図も同じ

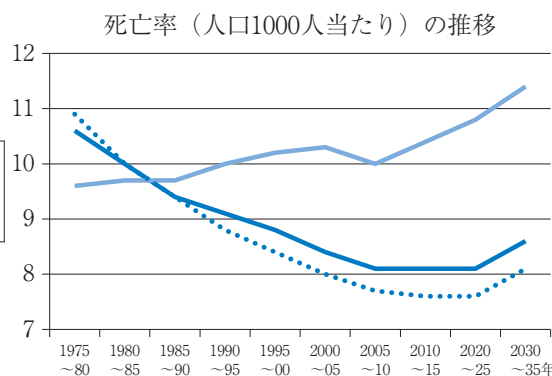
◇ アジアの人口構成比がピークアウトする一方、アフリカは急拡大



◇ 出生率は開発途上国も低下の一途



◇ 死亡率は開発途上国も低下から上昇へ

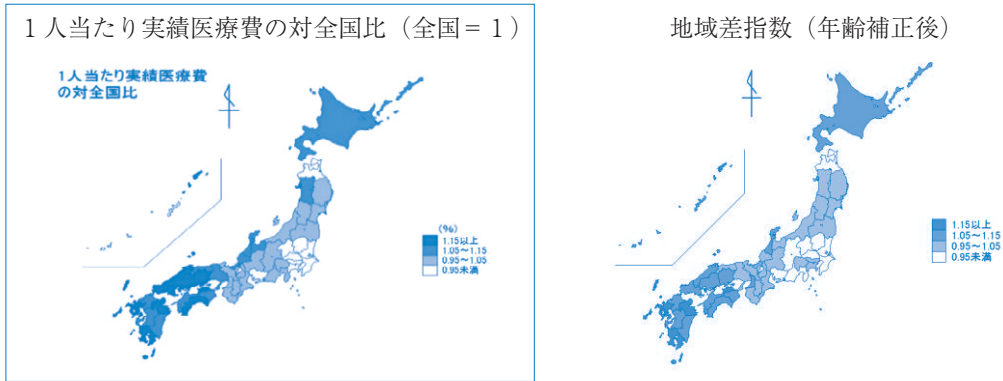


資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」  
 注：2020年以降の人口は出生中位、死亡中位の仮定による推計値

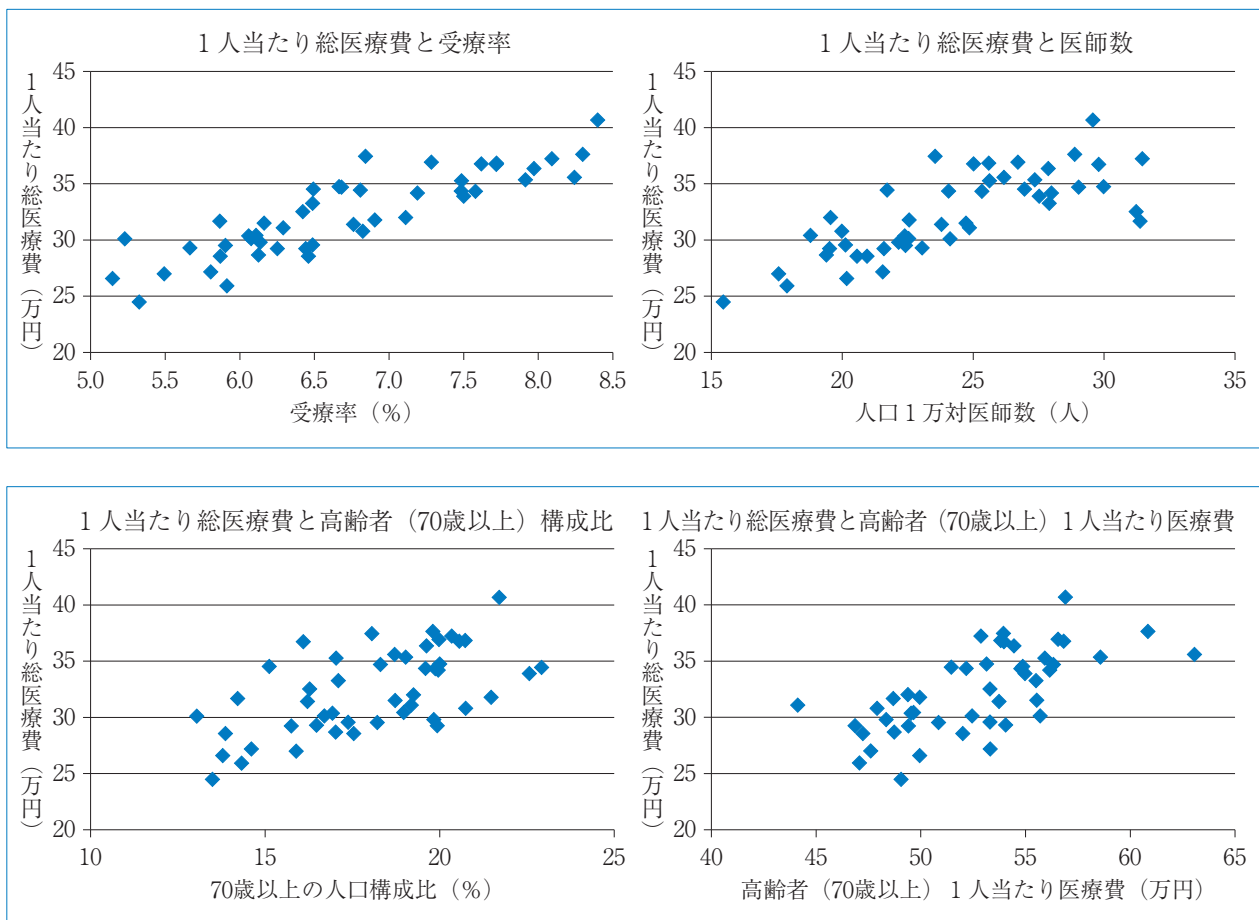
### 3 統計地図で見える日本の地域特性

#### 日本の医療費問題を考える

#### ◇ 医療費の地域差は西高東低



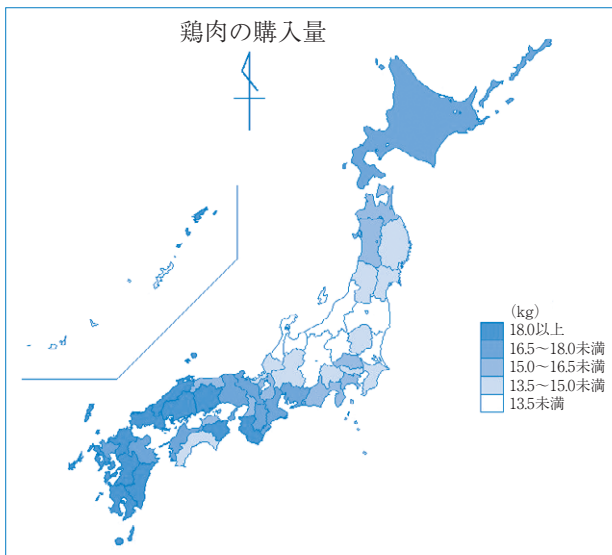
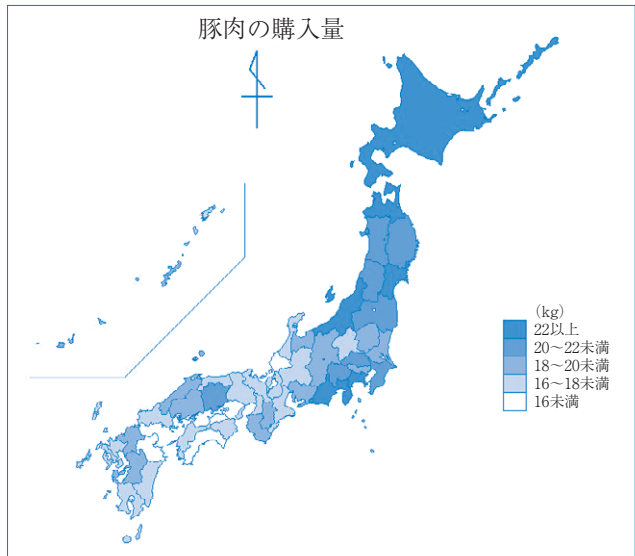
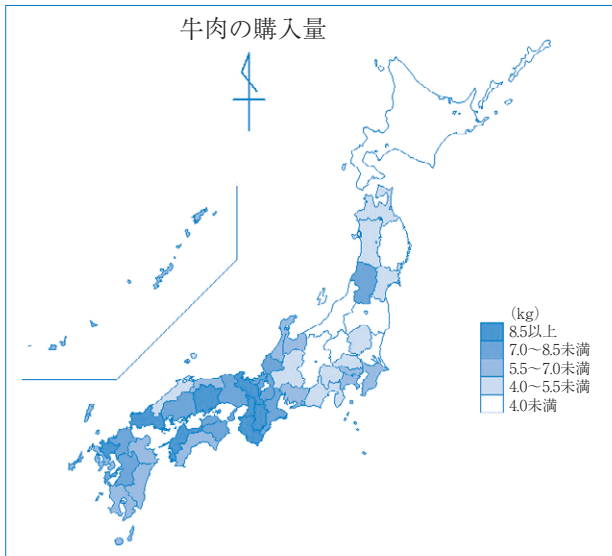
#### ◇ 医療費の差異の要因を探る



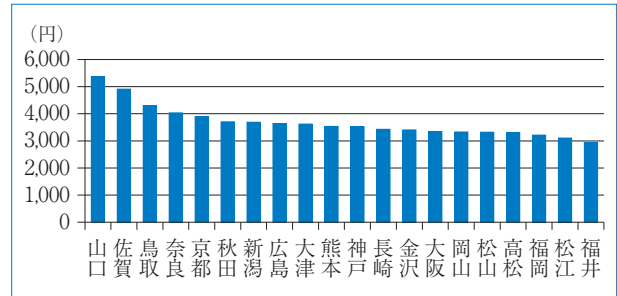
資料：「1人当たり総医療費」は厚生労働省「平成25年度国民医療費」と総務省「人口推計」から算出、「受療率」は厚生労働省「平成20年患者調査」の入院と外来の合計、「人口1万対医師数」は厚生労働省「平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査」、「70歳以上高齢者構成比」は総務省「人口推計」、「高齢者1人当たり医療費」は厚生労働省「平成23年度老人医療事業年報」

地域色が表れる食生活の違い

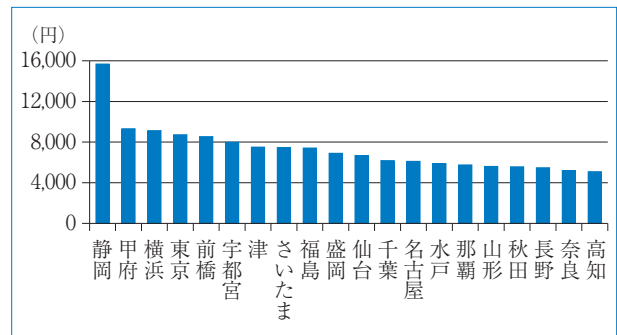
◇ 西日本は牛肉、東日本は豚肉、九州は鶏肉が好き



◇ 白身魚（たい・かれい）の支出は西日本が多い！  
（たい+かれい）の1世帯当たり年間支出額上位20都市



◇ まぐろの支出は東日本が多い！静岡は突出  
まぐろの1世帯当たり年間支出額



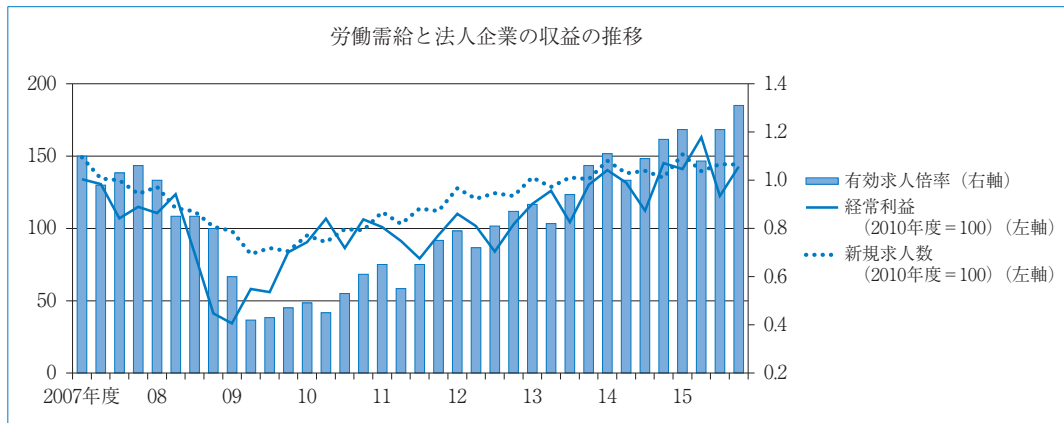
資料：総務省「家計調査」

注：都道府県庁所在市・地方別における2人以上世帯の1世帯当たり年間購入数量および支出額（2015年）

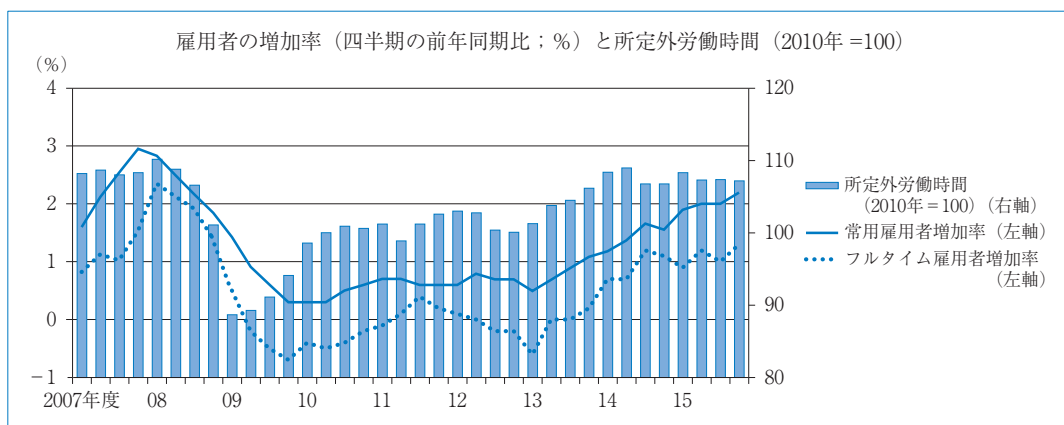
## 4 関心を高める雇用・賃金・物価

### 改善の兆しが見えてきた雇用・賃金状況

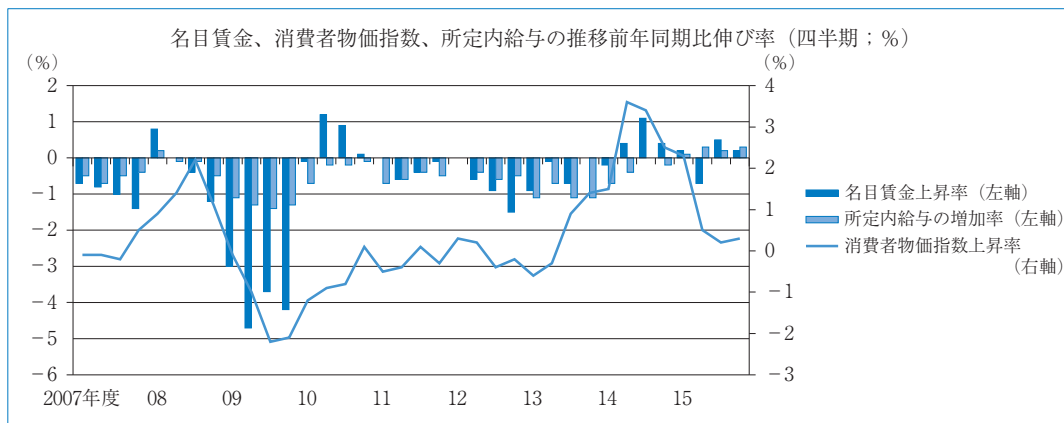
#### ◇ 企業収益の好転とともに新規求人数は増加し、労働需給は改善



#### ◇ 所定外労働時間の増加が一服し、フルタイム雇用者が増加に転じる



#### ◇ 名目賃金が増加する中で、ようやく増加に転じた所定内給与

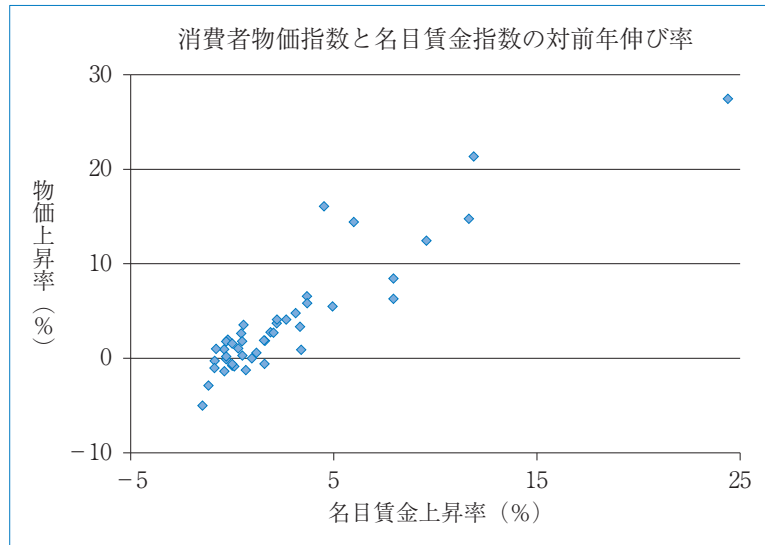


資料：厚生労働省「職業安定業務統計」・「毎月勤労統計」、財務省「法人企業統計季報」、総務省「消費者物価指数」

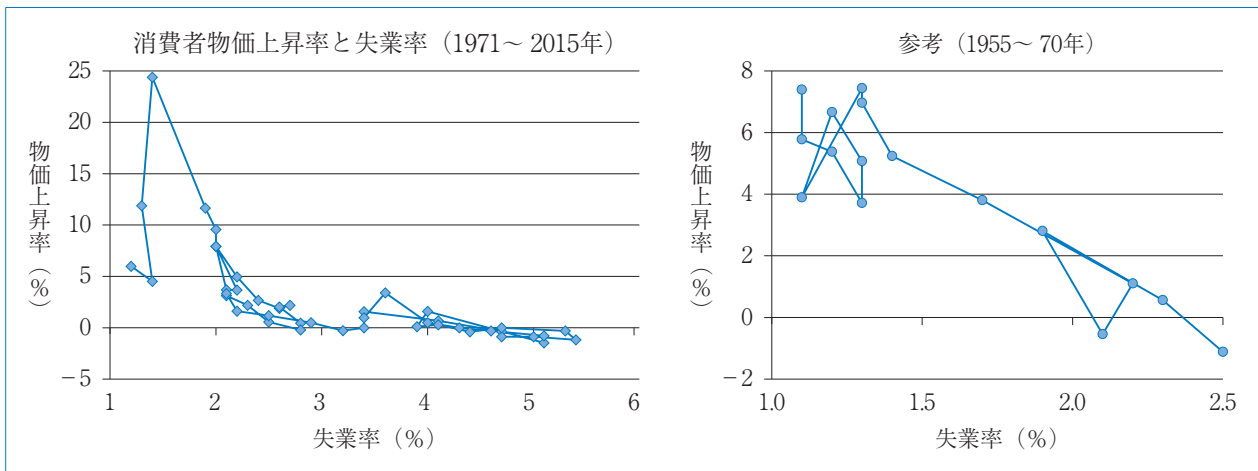
注：求人数は新規卒者を除きパートタイムを含む、経常利益は金融・保険を除く全産業。雇用者・賃金・給与の調査対象は雇用者5人以上の事業所。

**失業率と物価（賃金）の関係は？フィリップス曲線から知る！**

◇ 名目賃金上昇率と物価上昇率は極めて高い相関



◇ フィリップス曲線（失業率と物価上昇率の関係）の形状は理論通り



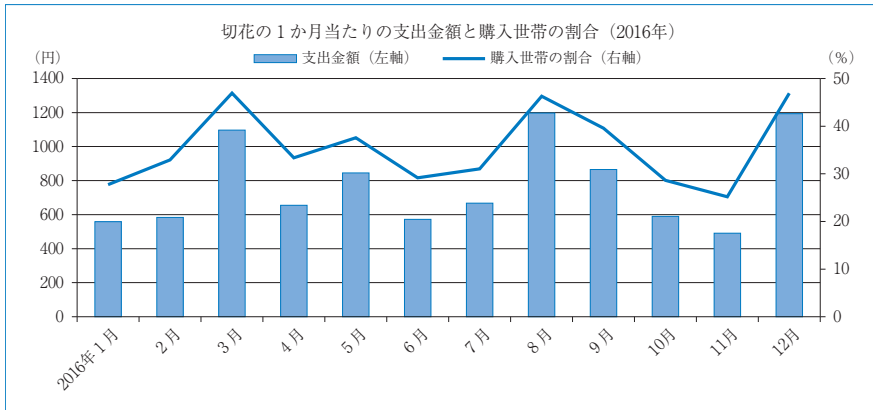
資料：総務省「消費者物価指数年報」・「労働力調査」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」



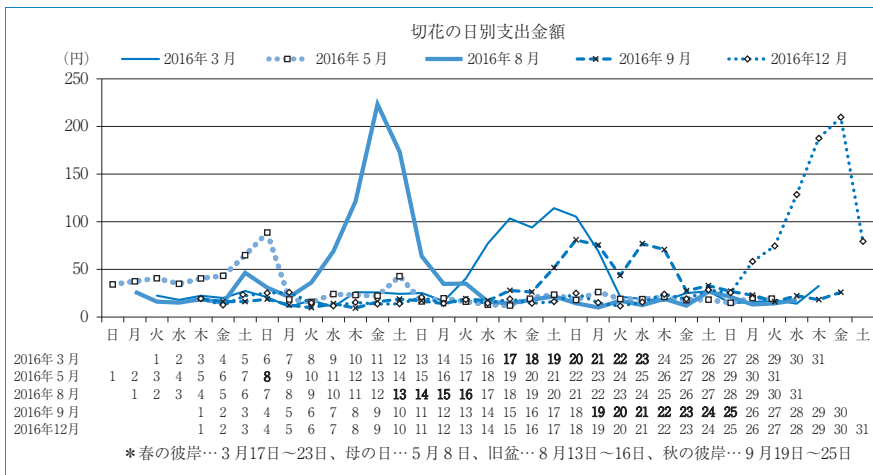
## 5 統計データに表れる日本の歳時記

### 切花は季節行事に密接に関わる

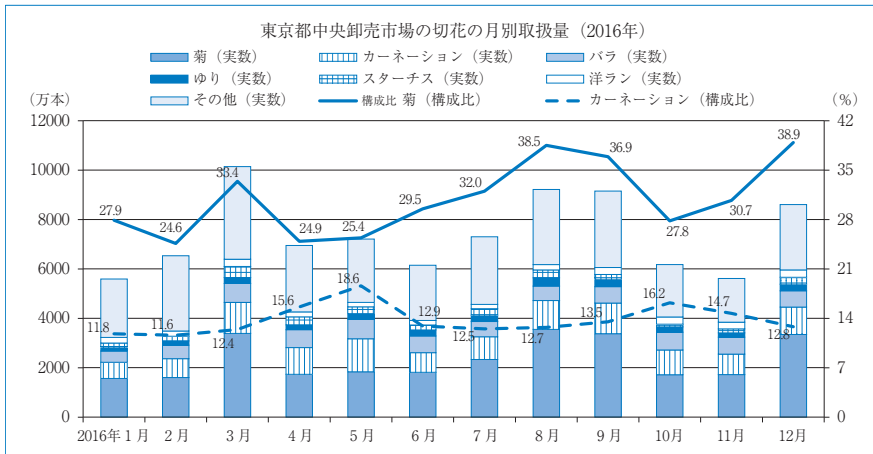
- ◇ 切花の1か月当たり支出金額と購入世帯は3月、5月、8月、9月、12月に多い



- ◇ 3月は春の彼岸、5月は母の日、8月は旧盆、9月は秋の彼岸、12月は大晦日前日(30日)にピーク



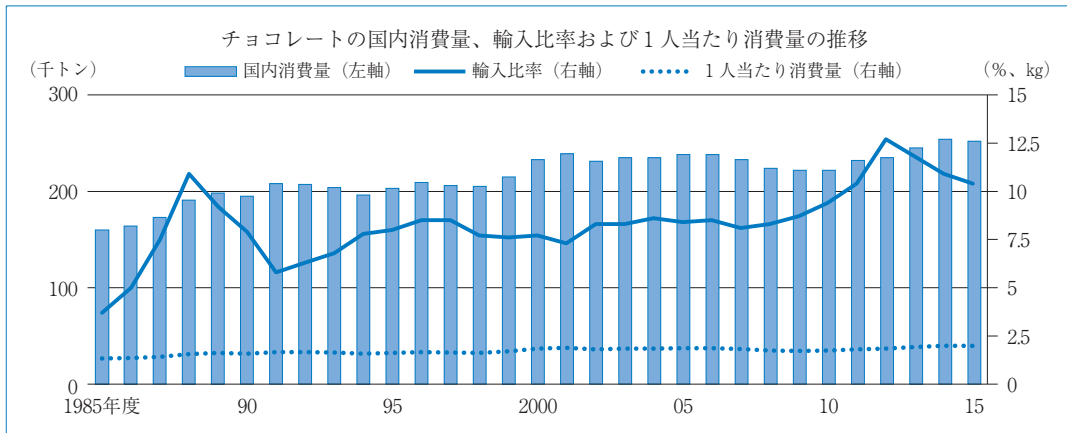
- ◇ 3月、8月、9月、12月は菊の花、5月はカーネーションの構成比が高い



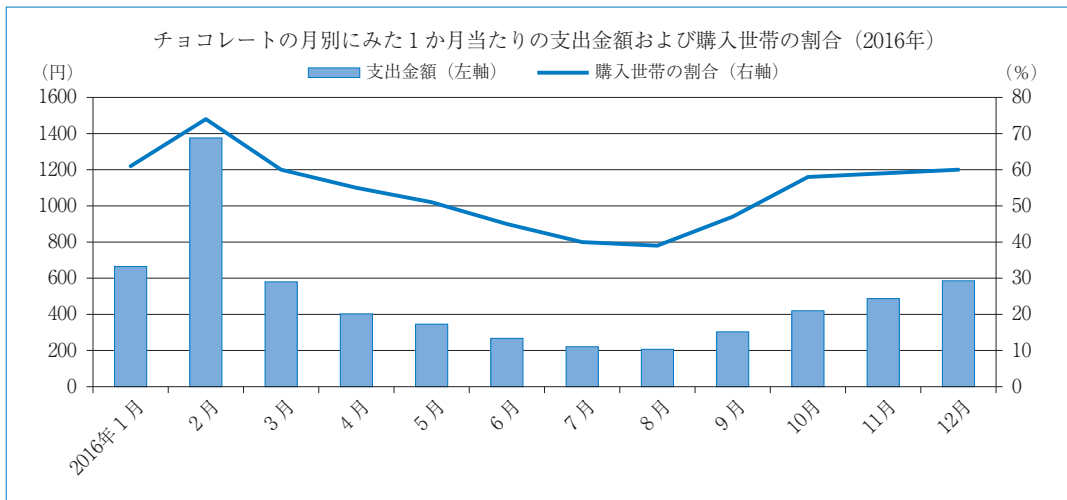
資料：総務省「家計調査」、東京都卸売市場ホームページ  
 注：支出金額・購入世帯は2人以上の世帯

## バレンタイン・チョコのいま？

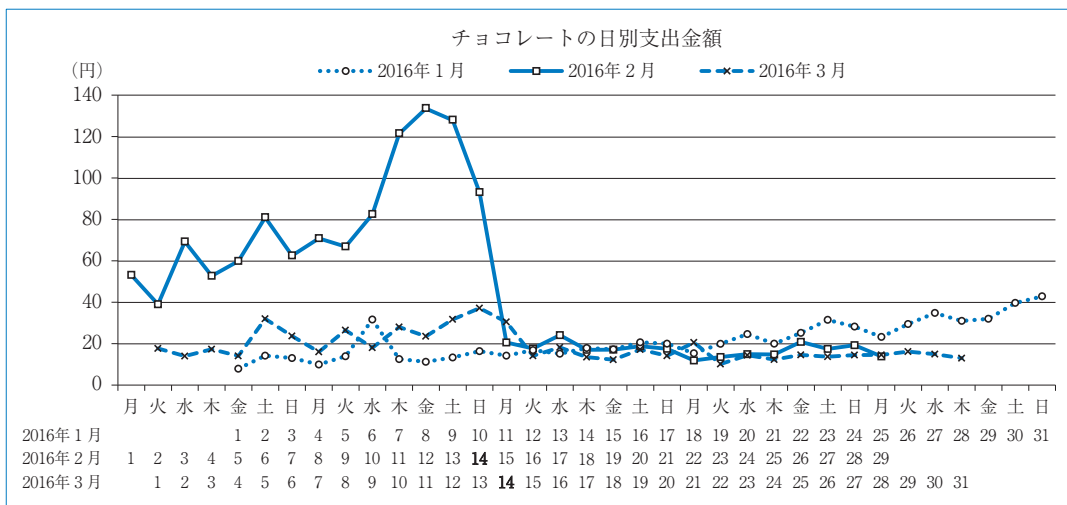
### ◇ チョコレートの人気は堅調、近年輸入が増加



### ◇ 2月に突出するチョコレート支出と購入世帯比率



### ◇ バレンタイン・チョコはバレンタインデー（2月14日）に向けて1月下旬から始まり、前日までの数日間に盛り上がる



資料：日本チョコレート・ココア協会ホームページ、総務省「家計調査」  
注：数量はいずれも推計値である。支出金額・購入世帯は2人以上の世帯